

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公開番号】特開 2001-272485 (P2001-272485A)

【公開日】平成 13 年 10 月 5 日 (2001.10.5)

【出願番号】特願 2000-82606 (P2000-82606)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 4 G 1/00

G 0 5 G 1/02

H 0 1 H 13/06

H 0 1 H 13/14

H 0 5 F 3/02

【F I】

G 0 4 G 1/00 3 0 5 B

G 0 5 G 1/02 B

H 0 1 H 13/06 B

H 0 1 H 13/14 A

H 0 5 F 3/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 14 日 (2003.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

A . 本実施形態

図 1 は本実施形態に係る電子腕時計 1 0 0 の正面図であり、図 2 は、図 1 に示す電子腕時計 1 0 0 の A - A' 線視断面図である。

図 1 に示すように、電子腕時計 1 0 0 は、ステンレス製の胴 1 0 1 と、図示せぬ裏蓋と、胴 1 0 1 と裏蓋により形成される内部空間に収容される電子部（図示略）と、時計バンド 3 0 0 とにより大略構成されている。なお、請求の範囲の欄に記載する機器ケースは、胴 1 0 1 と裏蓋とにより形成されたものをいう。

このような構成の電子腕時計 1 0 0 は、現在時刻等を表示する表示部 1 1 0 と、時刻の設定変更等の操作を行う操作部 1 2 0 等を備えている。

表示部 1 1 0 は、液晶パネル等により構成されており、日付及び時刻をデジタル表示すると共に、スケジュールのコメント等の情報を可視表示する。

操作部 1 2 0 は、胴 1 0 1 の左右の側面に配設されたレフトスイッチ L、ライトスイッチ R、及び胴 1 0 1 の前面に配設されたフロントスイッチ F 1 1、F 1 2 とにより構成されている。

電子腕時計 1 0 0 を所有するユーザは、操作部 1 2 0 を構成する各スイッチを操作することにより、表示部 1 1 0 に表示される表示モードの変更（例えば、時刻表示モードからスケジュール表示モードへの切り換え等）、スケジュールの日時とコメントの設定等を行う。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【図面の簡単な説明】**

【図 1】電子腕時計 100 の正面図である。

【図 2】本実施形態におけるフロントスイッチ F 11 の構成を示す図である。

【図 3】本実施形態におけるフロントスイッチ F 11 のボタン部 10 を押下した状態を示す図である。

【図 4】従来のフロントスイッチ F 1 を説明するための図である。

【図 5】本実施形態におけるフロントスイッチ F 11 を説明するための図である。

【図 6】本実施形態におけるフロントスイッチ F 11 を説明するための図である。

【図 7】応用実施形態に係る電子腕時計 100 a の側断面図である。

【図 8】従来のフロントスイッチ F 1 の構成を示す図である。